

平成23年度 神戸電鉄粟生線 地域公共交通活性化・再生総合事業計画 進捗状況

	事業計画における事業名称	連携計画の方針・事業番号	平成23年度事業計画のメニュー	事業の概要	具体施策 (赤字は実施中および実施済の施策)	23年度計画事業費 (百万円)	23年度実績見込事業費 (百万円)
1	企画きっぷ、割引制度等の充実と効果的なPR活動	方針1-①	企画きっぷの充実と効果的なPR活動	企画乗車券の効果的なPRを行い、潜在的な利用者の掘り起こしを図る。	シニアパス等の企画乗車券のPR (チラシ・ポスター等)	1	1
2	接客サービスの向上および利用しやすい駅・快適な駅づくり	方針1-⑤	利用しやすい駅・快適な駅づくり (駅周辺の待合環境整備など)	駅での快適な待合環境の整備や企画乗車券の常時販売、タイムリーな情報提供等による利便性向上を図り、利用しやすい駅周辺環境を整備する。	企画乗車券販売機の増設(栄、恵比須) 駅植栽による美観向上(西鈴蘭台) 駅PR放送設備改良による各種情報の提供 キャラクターシートの導入※① 構外市民トイレの整備(三木)※②	25	16
3	駐停車エリア、駐車場、駐輪場の整備および駅情報・運行情報等の発信	方針2-①	パークアンドライド促進	自動車アクセスによる鉄道利用者を確保し、潜在需要の掘り起こしと、現行の駅勢圏の拡大による粟生線の利用者増を図る。	小野駅P&R駐車場(月極)増設 時間貸P&R駐車場整備 (広野ゴルフ場前、三木、押部谷、小野)※②	14	31
4			サイクルアンドライド促進	駐輪場に屋根を設置して、自転車等で来駅する周辺地域からの利用者の利便性向上による利用促進を図る。	駐輪場屋根の整備(木津)		
5	バスとの効果的な接続	方針2-②	接続バス情報の提供	駅と周辺施設や住宅地を結ぶアクセスバス路線について、路線図や時刻表等の情報掲示板の設置など、バスと鉄道の一貫した輸送サービスの提供を図る。	バスアクセスマップ制作・配布	1	「おでかけガイド」に添付
6	小中学校等への粟生線利用の促進と支援	方針3-②	小・中学校校外学習利用促進	粟生駅周辺での農業体験校外学習(田植え、稲刈り等)や、三木山森林公園での自然体験学習プランを企画・実施し、学校団体の利用誘致と公共交通利用啓発を図る。	粟生農業体験、三木山森林公園への校外学習企画の提供・PR	1	1
7	地域間の各イベントとの連携強化	方針3-③	沿線イベントへの公共交通利用促進 (沿線イベントへの旅客誘致)	粟生線沿線の祭りなどの集客イベントに合わせて、公共交通利用を促すPRや新規企画乗車券の発売、キャラクターを活用した利用促進PRキャンペーン等を実施する。	三木金物まつり、小野市産業フェスティバル等での利用啓発イベントや誘致PR ミニトレイン製作による沿線催事への誘致	5	5
8	沿線地域における観光資源の魅力的な活用	方針3-④	沿線観光資源を活用した利用促進イベントや情報提供	粟生線沿線の社寺仏閣や公園・温泉・文化施設等の観光資源や地域物産の魅力を伝えるとともに、併せて、それらを鉄道で巡るスタンプラリー等のイベントを実施し、沿線地域と一体となって観光利用者の増加を図る。	スタンプラリーの実施(夏・秋) 駅周辺の観光・ハイキング案内看板(緑が丘)	10	5
9	魅力的な車窓からの景観づくり	方針3-⑤	沿線の景観・名所づくり	「粟生線フラワーライン計画」として沿線での花や緑による植栽を進め、地域イベントとも連携して沿線の話づくりと地域間の移動や来訪者の誘致促進を図る。	葉多駅周辺の菜の花畑植栽 木津付近の桜植樹	2	1
10	鉄道に関するイベントの開催	方針3-⑥	鉄道関連イベントの開催 (利用者交流イベントの開催)	「トレインフェスティバル」や「ミステリートレイン」、「ライブトレイン」などで利用啓発や地域参加の要素を組み込んだ集客イベントを実施し、効果的な旅客誘致と利用啓発を図る。	トレインフェスティバルでの利用啓発イベント実施 イベント列車の運行(ミステリートレイン) ラッピング列車装飾、出発式	11	10
11	ホームページ等の広報により粟生線の魅力発信	方針3-⑦	営業情報の提供 (運行情報・沿線情報の発信)	粟生線沿線や神戸方面等のおでかけスポットや、企画きっぷ等の情報や協議会の取り組みを紹介する「おでかけガイド」、「粟生線活性化協議会だより」を制作・配布し、新規利用の誘発を図る。また、ホームページを通じて、域外を含む、より広域からの旅客誘致を図る。	「おでかけガイド」制作・配布 「粟生線活性化協議会だより」の制作・配布 (夏・秋・冬・春)	6	11
12	企業や学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント等の実施	方針4-① 方針4-② 方針4-③	沿線企業・学校・自治体・住民へのモビリティ・マネジメント キャラクターを活用した公共交通利用啓発PR 沿線自治体職員等による公共交通利用率先行動	沿線住民への公共交通利用情報の提供や、沿線の学校・企業・自治体職員等に粟生線利用促進を訴えかけるツールやプログラムを企画・実施するほか、高齢者向けの乗車券を発売するなどにより、公共交通利用行動を喚起する。また、利用啓発にあたりシンボルキャラクターを活用した効果的なPRを図る。	沿線住民向けTFPの実施 (動機付冊子配布、コミュニケーションアンケート実施) 粟生線利用促進マップの作成・配布 (おでかけガイドに添付) 利用啓発ポスター制作・掲出 粟生線活性化シンポジウム開催 キャラクターを活用した利用啓発PR	15	12
13	沿線住民と一体となった粟生線の活性化とPR	方針6-①	利用者参加による公共交通利用啓発活動	沿線利用者参加によるボランティア活動(駅美化、植栽、利用啓発PR等)を支援するため、活動のための備品等の整備(プランター、清掃用具等)や地域参加の啓発イベント、メッセージ発信等の実施、支援組織としてのサポーターズクラブの設立など、沿線地域のマイルール意識の向上と利用促進を図る。	七夕列車・クリスマス列車の運行 駅広告看板枠を活用した利用啓発メッセージ発信	4	2
合計						95	95

(注) 23年度計画事業費(約95百万円)と、ほぼ同額の事業を実施する予定。

※①快適な車内環境提供による利用促進とマイルール意識の醸成を図るため、粟生線活性化のシンボルキャラクターをデザインした座席シートの導入を当初計画に追加して実施する予定。

※②当初計画していた構外トイレ整備(三木)について兵庫県・三木市により整備されることになったため、その事業費を整備適地の用地確保が可能となった時間貸パークアンドライド駐車場整備(三木、押部谷、小野)に充当する予定。

上記①、②の当初計画からの変更に伴い、国に対して補助金交付決定変更申請が必要となるため、必要な手続きを行うこととする。